



町民のみなさんと議会をつなぐ

びっふ議会だより

No. 124

令和7年8月

【表紙】 「牧草ロールとびっぶスキーマ」

白寿大学 写真クラブ 高野 正行さん（9区）撮影

P4 一般質問 スバリ！ここが聞きたい

遠藤 ハル子 議員 / 大熊 勝幸 議員

佐藤 良彦 議員 / 今井 明信 議員

八巻 良博 議員 / 谷口 雅浩 議員

植西 浩一 議員

P14 広報委員が聞く！町民インタビュー



第2回定例会

令和7年第2回定例会では、町の課題等に対し7議員が一般質問をしました。(4〜10ページに掲載)
議案6件は審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。

報告

◆令和6年度比布町予算繰越明許費繰越計算書

地方自治法及び地方公営企業法に基づき、次の事業を令和7年度に繰り越して執行することが報告されました。

- ◇一般会計(複合庁舎建設事業 他4事業)
- ◇簡易水道事業会計(導水ポンプ場機械設備更新事業)
- ◇公共下水道事業会計(旭川広域圏下水道施行負担金事業)

条例

◆比布町税条例の一部を改正する条例

上位法の改正に伴い、19歳以上23歳未満の子等に関する特別控除に係る規定の改正及び軽自動車税種別割における原動機付自転車の車両区分の見直しに係る規定等を改正するものです。
【原案可決】

◆比布町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険法施行令の改正に伴う条例改正です。
【原案可決】

◆比布町保健福祉サービス手数料条例の一部を改正する条例

配食サービス事業において、物価高騰による食材費等の上昇により、事業経費が増加したことから、本年10月より利用料金(自己負担)を改正するものです。

(現行) 450円
(改正後) 550円

【原案可決】

◆比布町公園条例の一部を改正する条例

中央ふれあい広場について、本年6月末に完成となることから、新たに整備した施設(噴水、築山等)を現状に合わせた内容に変更するものです。
【原案可決】

補正予算

◆一般会計(第1号)

◆国民健康保険特別会計(事業勘定・第1号)
補正額と総額、主な内容は左ページ表のとおりです。
【原案可決】

発議

◆比布町議会議規則の一部を改正する規則

会議規則中に規定されている議会に係る手続きについてオンライン化を可能とするもの及び現在の社会情勢に照らした文言調整を行うものです。
【原案可決】

◆比布町議会委員会条例の一部を改正する条例

会議規則と同様に委員会に係る手続きについてオンライン化を可能とするもの及び災害等により委員会の開催が困難な場合の特例として、委員会のオンライン開催を可能とするものです。
【原案可決】

◆比布町議会傍聴規則の一部を改正する規則

傍聴人受付簿等から「年齢」の記載欄を削除することや、議会への多様な人材参画等を図る観点から、傍聴席に入場できない方及び傍聴人が守るべき事項を見直すものです。

【原案可決】

意見書を提出

次のとおり意見書を採択し、関係機関に提出しました。

◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

第3回臨時会 4月16日

◆専決した事件の承認

◇令和6年度一般会計補正予算(第11号) 補正額と総額は左の表のとおりです。

【原案可決】

◆財産の取得

老朽化に伴い除雪トラックを更新するものです。

【原案可決】

第4回臨時会 7月14日

◆町道の認定

【原案可決】

◆一般会計補正予算(第2号)

◆観光事業特別会計補正予算(第1号) 補正額と総額、主な内容は左の表のとおりです。

【原案可決】

植西浩一議員による謝罪

令和6年3月5日に開催した第1回議会定例会の議案審議において、植西浩一議員から、令和5年に執行された比布町議会議員選挙において、選挙ビラの折り込みを拒否された旨の発言があったことに対し、町内事業所より抗議があったことから、令和7年第2回議会定例会において植西議員より謝罪を行いました。

当時、植西議員の発言を議長及び選挙管理委員会事務局で調査を行った結果、折り込みを拒否した経緯は認められなかったことから、会期内にその旨を議長から報告しました。しかしながら、議員が会議中、議場で事実と異なる発言を行ったことは、比布町議会の信頼を失墜する行為であることから、植西議員に対し厳重に注意するとともに、議会としても今後の再発防止のため、今回の件を含め議会運営委員会等において対応を協議してまいります。

比布町議会議員 佐藤 康則

(謝罪内容)

令和6年3月5日の議会定例会の議案審議において、選挙ビラの折り込みを拒否されたという私の誤った発言があったため、この場を借りて陳謝を申し上げます。

ご迷惑をおかけしました関係者の方にはお詫び申し上げます。

比布町議会議員 植西 浩一

次回の議会定例会の予定

- 9月 9日(火) 本会議(一般質問・議案審議)
- 10日(水) 決算特別委員会
- 11日(木) 決算特別委員会
- 12日(金) 本会議(議案審議)

お気軽に傍聴にお越しください



※日程等は変更になる場合がございます。



障害者総合支援法に基づいた すべての町民にやさしい町を

村中町長

サービスの周知を図り 利用可能なサービスの再確認をうながす



えん どう はる こ
遠 藤 ハル子 議員

□質問・遠藤議員

障がいのある無にかかわらず暮らせる社会の実現をめざす目的で制定された「障害者総合支援法」を尊重すべきであり、全ての障がい者が平等に人権を享有できる社会を実現する目的で制定された「障害者権利条約」に基づき、当事者の考えを含めた施策を求めます。

(1)比布町の「障がい者福祉計画」の活用。

(2)障がい者手帳には①身体障害②精神障害③知的障害があり、①の身体障がい者の方は一度認定されると原則有効期限がなく、そのことで、障がい者としての情報や制度のお知らせなどが本人に届けられていません。身体障害者手帳を持つ方に情報提供を。

(3)身体障がい者の難病指定が外されたり、難病名が変わったり、制度利用も時代により変わっています。「障がい者福祉の手びき」の発行が必要では。

(4)障がい者自身が活動する団体でもある「身体障害者福祉協会」「きたよんサロン」「手話クラブ」への支援強化を。

4点について町長に伺います。

■答弁・村中町長

平成30年4月の障害者総合支援法及び児童福祉法の一部改正等により、障がいのある方が自らの意

思により地域で安心した生活を送ることができるとする社会のため、市町村がなう役割と責務はさらに重要となり、これらの法律の規定に基づき「第7期比布町障がい福祉計画」及び「第3期比布町障がい児福祉計画」を一体的に策定しています。

(1)計画推進の基本方針を定め、様々なサービスを確保するための方策等に基づき各種事業を進めています。

(2)新規に手帳の交付を受ける方に対しては医療や手当、交通費、税の減免などのサービスを紹介する文書を渡していますが、等級変更などの再交付の際に渡していないことから、その都度文書を渡し、利用可能なサービスの再確認をうながします。

(3)障がいの関係に特化したものではありませんが、保健や福祉、介護などの制度を紹介する「くらしの便利帳」を本年度更新し、町ホームページに掲載する予定です。

(4)「身体障害者福祉協会」は町が事務局をにない活動を支援しています。「きたよんサロン」は上川中部基幹相談支援センターが運営しており、町では毎月「広報びつぷ」での案内及び参加経験のある方へ文書を送付し参加をうながし、サロンには職員も参加しています。また、「手話クラブ」は、当麻町

と広域で活動し、公共施設使用料の減免や講師等派遣の相談受付、謝礼等の一部補助を行う予算を計上しています。

各団体の自主性を尊重することでも大切であり、当面支援を継続していきますが、活動するうえの課題などがありましたら改善に向けて検討します。

□遠藤議員 各団体さんが会員勧誘をしようと思っても、個人情報保護の観点から教えられないと言われる。本人の同意があれば、「協会等」に紹介していいですか」等のアプローチも必要ではないかと思えます。団体が大事だということであれば、一歩行動をされたらいいのではありませんか。

■村中町長 本人の同意があれば問題はありますが、そういった情報を誰が教えたのか、どこから漏れたのかという問題にならないよう、細心の注意を払いながら会員の拡大するための施策は必要かと思えます。

□遠藤議員 社会情勢のために、もっとヘルプマークの啓発が必要だと思えますので、受付の台に置き、広く持つて頂く事で障がい者への認知が広まると思えます。

■村中町長 保健福祉課の中でも、そういったことが理解されるように努めていきたいと思えます。



一般質問 スバリ！ここが聞きたい

2 期目の総括と 3 期目の町政を担う覚悟は

村中町長

**住んで良かったと思えるまちをめざし
誠心誠意努力を尽くす**

おお くま かつ ゆき
大熊 勝幸 議員

□ 質問・大熊議員

2 期目の町政は、コロナ禍の大変な舵取りでしたが、ワクチン接種体制の迅速な整備により、町民の安全を守る事を最優先とし、商品券配布など、町民生活、町内経済を支える政策を進めてきました。

また、最大の課題である人口減少問題では、様々な対策が功を奏し、管内でもほとんど見られない3年連続の転入超過という喜ばしい結果となっています。

一方で、長年の課題であった消防署や保健センター、役場など、老朽化が進む主要な公共施設の集約が待っています。

災害がいつ、どこで起きるかわからない今日、消防署を含め、災害対策にあたる建物が一番脆弱（ぜいじやく）という事態は、速やかに解消しなければなりません。

費用については、国や道の補助金など、様々な工夫で町の財政負担を減らす必要がありますが、今の比布町において、その舵取りは、国や道ともしっかりと関係性をつくられてきた、村中町長以外には担う事ができないと考えています。そこで、村中町長に伺います。

2 期目の町政についてのご自身の現在の総括と、3 期目の町政を担う覚悟についてお聞かせください。

■ 答弁・村中町長

多くの町民の皆様より温かいご支援を賜り、平成30年1月から町長として仕事をさせて頂いたいただき、2 期目の最終年を迎えています。

これまでを振り返りますと、ブラックアウトや約3年にも渡ったコロナ対策など、苦しかったことばかり思い出されますが、住んで良かったと思えるまちをめざし、人口減少対策を最重要課題として、子育て支援や保育、教育環境の充実などに取り組んできました。

本町の人口は減少傾向にありますが、3年連続で転入超過となったことは、これまでの移住定住施策や子育て支援策などに一定の評価をいただいたものと思いますし、町民の皆様が、移住された方々を温かくお迎えいただき、心地よく暮らしやすい環境を醸成いただいていることも大きな要因であると考えます。

しかし、福祉や公共交通の充実、農業や商工業、観光の振興など、様々な課題が山積しており、防災拠点ともなる公共施設の老朽化も大きな課題であると認識しています。

特に、役場庁舎は建設から65年が経過し耐震強度も不足しており、福祉会館や消防庁舎も55年を迎え、可能な限り早期の建替えが必要ですが、大きな事業であり、町財政への不安の声もいただいています。

複合庁舎建設には、最大限に有利な財源を活用し、長期の返済計画を実行することにより、町民の皆様には、さらなる税負担をお願いすることなく建設できるものと考えています。

平成30年度末と令和6年度末では、基金は約3億5千万円増加し、町債残高も約9億円減少するなど、これまでも財政の健全化を進めながら各種施策を実施してきました。

一方、近年の物価高騰による各公共施設の維持管理費の上昇は、本町を含めた多くの自治体の課題です。このため、将来的にはゴミ証紙や下水道料など、手数料や使用料など値上げをさせていただかなくてはならないものも想定されます。

将来の予測が難しい時代ですが「第13次比布町まちづくり計画」に基づき、住んで良かったと思えるまちをめざして歩みを止めることなく、未来の子どもたちにも、この素晴らしい比布町をしっかりと引き継いでいかなければならないと思っています。

これまでを振り返り、これからを想像しますと、その職責の重さを強く感じますが、誠心誠意努力を尽くし、町民の皆様のご期待に応えられるよう、決意を新たに、来る町長選挙におきまして立候補させていただきます。



社会福祉協議会との連携を強化し地域福祉の推進を

村中町長

関係機関と連携した訪問事業を通じ顔の見える関係づくりを進める



さとう よしひこ 佐藤 良彦 議員

□質問・佐藤議員

第13次まちづくり計画において、高齢者の健康維持と増進・介護予防・生活支援など様々な実施計画が盛り込まれており、高齢者事業は、社会福祉協議会（以下「社協」）が大きな役割を果たすものと思います。

全国の社協では、包括的な支援体制の確立を目標に様々な事業が展開され、自治体によって独創的な活動もされています。

社協は民間企業の位置付けですが、本町は多くの補助金を交付し、地域福祉の中心的事業を担う立場ですが、職員の退職等により厳しい運営状況です。

他自治体においては、管理職の給与を負担し出向させているケースもあり、運営的に良い結果を創出している例もあります。

現在、社協の訪問介護事業の稼働率は全国平均値の5割程度で、高齢者の地域生活を支える要である生活支援コーディネーターも不在となっており、他市町と比較して進んでいないのが現状です。

数値的目標のある各事業の実施状況と展望について、町長に伺います。

■答弁・村中町長

高齢者事業は、本町でも地域福祉の中核としてボランティア活動の事務局をはじめ、地域と密接な

関わりをもつ社協に運営していたでいています。

近年は、権利擁護や孤独問題などの課題も多くあり、社協をはじめ様々な民間団体とも連携・協力しながら解決すべき課題が増えています。町としては、複雑化する地域課題に対応するため、より一層のニーズ把握と適切なサービスの検討が必要と考えており、今年度は町・消防署・社協・生活支援コーディネーターなどが連携し、75歳以上の世帯等を訪問して状況を把握し、高齢者等に対し適切な支援の提供に努めるとともに新たなサービスの検討を行いたいと考えています。

今年度実施する訪問事業を通じて顔の見える関係づくりを進め、地域ケア会議などによる情報共有や役割分担などを行い、それぞれの専門性を活かした自立支援に繋げていく考えです。こうした事業の展開には、社協の協力が必要不可欠であるため、組織の課題解決にも支援していきたいと考えます。

町

職員へのカスハラ問題

□佐藤議員 カスタマーハラスメント（以下「カスハラ」とは、町

民や利用者からの不当な要求や言動、過度なクレームなどにより、

職員の精神的な負担や業務への支障を招く深刻な問題です。

議場で質問することにより、社会的に問題視されていることを示し、多くの町民の皆さんに現状を理解していただき、事前防止につながることを期待したいと思います。

庁舎内外の対策として本町で取り組んでいることはあるか、町長に伺います。

■村中町長 自治体職員に対する不当な要求や暴言、威圧的な言動などは、職員のメンタルヘルスや行政サービスの直接的な影響を与える問題とされており、町職員に実施したアンケートでは、「実際にカスハラを受けた」「対応が長時間にわたり業務に支障をきたした」という回答が複数あり、行政サービスの影響が少なからずあったものと考えています。

本町では、カスハラに対する明確な基準やマニュアルは整備していませんので、他のハラスメント対策とあわせた総合的な対策の構築を進めます。

また、クレームの全てがカスハラに該当するとは限らず、ボタンのかげ違いもあると思われるため、画一的な対応ではなく、状況に応じた丁寧な対応に努めることによりご理解をいただき、公平・公正な行政サービスの提供に努めます。



一般質問 スバリ！ここが聞きたい

ぴっぷスキー場と 良佳村エリアの今後の運営は

村中町長

民間活力や民間資金等を活用した
あらゆる運営方法を研究・検討する

いま いのぶ
今井 明 議員

□質問・今井議員

平成10年より開業しました遊湯ぴっぷを始めとする良佳村エリアも、およそ30年の年月を経過しています。

この間、国民の価値観やニーズの変化、余暇の過ごし方やスポーツの多様化、インバウンドによる観光需要等、大きく時代が変化を遂げました。

また、北海道内ではスキー場、温浴施設の閉鎖が相次ぎました。温浴施設の運営は時の「風潮」でもあり、現在は時代と少し乖離していると考えます。

良佳村エリアは比布町民をはじめ町内外の方々の利用も多くありますが、ピーク時から利用は減少しています。

町民との意見交換の場である「議会と話そう」でも良佳村エリアについて多くの意見をいただいております、関心の大きさが伺えます。

そこで、次について質問します。

(1)ぴっぷスキー場は昨シーズンこそ売上を伸ばしましたが、リフト単価の増であり、輸送人員は減少しています。売上増、黒字化をはじめとする「施設運営」を今後どのように考えますか。

(2)円安傾向が続く中、現在はインバウンド需要で観光環境は良いですが、今後は予断を許さない状況

も考えられます。運営を民間移譲、若しくは民間委託も選択として考えていますか。

■答弁・村中町長

開業から25年以上が経過し、

エコー環境の整備やキャッシュレス決済の導入、多言語への対応など、観光施設に求められるニーズは時代の変化とともに多岐にわたっています。施設の老朽化対策や、これからの変化が続くと予想される様々な

ニーズに対し適切に対応することが求められると考えています。

(1)リフト収入は平成14年度以来の1億円を超えました。輸送人員は40,698人増の618,779人で昨対比107.04%となり、大きな減少には至りませんでした。

スキー場会計の観光事業特別会計は独立採算が原則ではありませんが、不足分は一般会計からの繰入金により補填をしています。一般会計への負担が軽減されるよう今後も営業努力を続けてまいります。

(2)良佳村エリアの各施設を持続的に運営していくためにも運営方法を検討する時期にきていると考えています。

現在の多様化するニーズに対し臨機応変に伝えていくためには民間活力や民間資金を導入した手法など、あらゆる運営方法について研究及び検討をしてまいります。

□今井議員 リフト収入が1億円

を超えた平成14年の輸送人員は113万2,534人であり、昨対だと54.63%、実は5割程度です。平成14年の人員であれば昨シーズンは2億円のリフト収入の計算になります。

ですが、現状では厳しいと考えます。スキー事業を撤退している自治体や民間が多くいる中で、事業を続ける理由を村中町長はどう考えていますか。

■村中町長 比布町にとってスキー場は大切な観光資源であり、コミュニティの場であると考えています。

□今井議員 良佳村エリアには主に3施設がありますが、どのような状況になった場合に運営の見直しを行いますか。また、現在事業者を探していますか。

■村中町長 スキー場の運営を町営で行うのであれば、今後、縮小することも考えられます。検討のポイントには施設の老朽化対策にどこまで支出が出来るかと考えます。

これまで指定管理者という制度も含めて、民間事業者の方々に食事の部分等をお願いしてきましたが、郷土愛、あるいは北海道愛のある未来永劫スキー場を含めた良佳村エリアを運営していただける民間企業の方がいましたら、ぜひ協議をさせていただきたいと思っております。



一般質問 ズバリ！ここが聞きたい

「子ども議会」で感じた いちごに対する想いと未来

村中町長

子どもたちの意見を励みに 「ぴっぷいちご」の継承・発展に尽力する



やまぎ よしひろ
八巻 良博 議員

■質問・八巻議員

私は昨年と今年の2回、子ども議会に立ち会い、子どもたちの比布町に対する想いや比布町の未来、また現状に対する提言などを聞かせていただきました。

そこで大きく感じさせられたのが、比布のいちごに対する子どもたちの想いです。いちごの商品化、いちごのイメージ戦略など、子どもたちはいちごをイメージとした比布町の未来を私たちに見せてくれました。

しかし、現在は若い農業者に農地が集まり、いちごの作付けに手が回らない状態であり、また手間がかかるわりに収入が限られていたり、観光農園、いちごの作付け、両方とも少なくなるばかりです。

そこで次の2点について町長に伺います。

- (1) 遊湯びつぷを道の駅にできないか。
- (2) 町内の家庭菜園でいちごを作ってもらい、道の駅で販売できないか。

町長は以前、遊湯びつぷを道の駅にすることは、それほどハードルは高くはないとおっしゃっていました。それならば、日本一小さな道の駅を作り、米、各種野菜、いちごをイメージしたグッズなど、夏の間だけでも販売スペースを作り、各家庭で作りたいいちごや余剰野菜などを持ち寄り、販売されてはいかがでしょうか。

■答弁・村中町長

子ども議会の概要については毎年報告を受けており、いちごの印象を強く待たれている子どもたちが多く、「いちごっ子」の素晴らしい発表からも、改めて100年続く「いちごのまち」の歴史をこれからも繋いでいかなければならないと思っています。

- (1) について、遊湯びつぷを道の駅とするためには、トイレや浄化槽などの増築工事が必要となりますが、新たな集客策として大変期待ができるものと思います。

一方、全国の多くの道の駅では車中泊利用者の対応に苦慮しており、遊湯びつぷは宿泊施設であり、キャンプ場も隣接していることから、道の駅にすることによって遊湯びつぷの運営としてはマイナス面もあると考えています。

しかし、町内には、いちごをはじめとする町の特産品等をPR・販売する場が不足しているとも感じていますので、道の駅に限定することなく、新たな地域振興の場の創出を検討します。

(2) について、直売所で販売するいちごは、食品としての安全性と生産履歴に透明性が求められることから、農業使用や栽培管理の内容について「栽培履歴」を記録・提出することが必要になるなど、販

売に向けては、消費者への安全・安心の担保として様々な条件を満たさなければならぬものと認識しています。

しかし、多くの家庭菜園でいちごが栽培され楽しめることは、いちごのまちとして望ましい姿であると思いますので、農協さんの育苗施設と連携した事業に発展できるように協議してまいります。

□八巻議員 農産加工室で特産品開発を行い、遊湯びつぷで販売すること、比布町のPRにつながるとは思いますが、町長の考えを伺います。

■村中町長 農産加工室については、不特定多数の方が利用していることから、商品を製作することはできないことになっていますが、試作品としては自由に使っていたことが出来ますので、加工室を使って試作品などを作り、商品化のきっかけとなればありがたいと思います。





一般質問 スバリ！ ここが聞きたい

児童生徒の登下校時における さらなる安全確保を

北川教育長

地域一丸となって安全意識を高め 積極的な防犯活動の推進に努める



谷口 雅浩 議員

□質問・谷口議員

4月下旬、比布中央学校では前期課程の児童と後期課程の生徒が合同で「下校訓練」を行っています。自宅のある方面ごとにグループを編成し、上級生が下級生を気遣いながら安全に集団で下校する方法を身につけました。

そして、町内駐在所や町交通安全指導員により交通安全教室も行われています。

町では、通学路の安全性を高めるため「横断歩道や信号機の設置」「歩道の整備や拡幅」「街路灯の設置」等を実施しています。

しかし、比布中央学校前では片側しか歩道が設置されていない現状があります。

また、関係機関と連携し、防犯教育の充実を図ったり、パトロール、街頭指導などが行われていますが、日常的な対策としては不十分に感じます。

そこで、次の2点について教育長に伺います。

(1)これまで以上に児童生徒の安全確保を行うため、比布中央学校前道路両側に歩道を設置する考えはありますか。

(2)不審者対策の一環として、地域住民の協力を得ながら、子どもたちの見守りを行うような取り組みは考えられないでしょうか。

■答弁・北川教育長

1つ目のご質問については、旭川道路事務所、旭川建設管理部や旭川中央警察署などで構成する「比布町通学路安全推進会議」の中で、学校前道路両側に歩道の設置をする議論がされましたが、片側が私有地ということで歩道設置には至りませんでした。

2つ目のご質問については、本町では多くのお店、事業所や個人宅に「子ども110番の家」として、危険に遭った子どもの一時的な保護や警察への通報などのご協力をお願いしており、子どもたちが安心して利用できる環境の確保に努めたいと考えています。

また、地域の皆様が、子どもたちや地域へ少しだけ意識を向けることで、登下校時の「見守る目」や通学路の「危険箇所の発見」を増やすことにつながりますので、登下校時間帯に合わせて、外に出て花に水やりをする、家の前で掃き掃除をする、犬の散歩をするなど、何かをされながら日常的に子どもたちを見守っていただきますよう、広報紙やSNS等を通じて啓発活動にも積極的に取り組んでまいります。

□谷口議員 通学路での交通事故は歩道の未整備が要因の一つとさ

れています。児童生徒の通学路に歩道を設置することは命を守り、快適で安心な通学環境を提供するために不可欠だと思います。

安全性の向上に加え、交通環境の改善にもつながると思います。もう一度、学校前道路両側の歩道の設置を検討する考えはありませんか。

■北川教育長 学校前道路両側の歩道の設置について、比布町通学路安全推進会議の中で取り上げていくことは可能だと思います。

□谷口議員 不審者対策として、SNSを持たない方にも防災無線等で周知をしていただき、協力を求めることができます。素早く行動できると思いますが、いかがでしょうか。

■北川教育長 防災無線の活用範囲について、防災無線を利用して子どもたちの見守りが可能なかどうか検討させていただきたいと思っています。

また、広報紙やSNS等で、子どもたちの見守りについてお願いをさせていただきたいと思っています。



若者が活躍できる地域に

村中町長

職業体験や修学旅行での企業訪問など できる範囲で経験をさせてあげたい



うえにし こういち 議員
植西 浩一

□質問・植西議員

旭川を中心とする連携中枢都市圏内に限らず、上川総合振興局管内の若者の人口割合が低下しつつあります。

これは、インフラ整備をするときの人手不足、また機械化を進めたときのオペレーター不足につながります。

このひとつの原因として、高校卒業後の進路を考えると、地域に必要な人財の具体的な内容が教育機関や保護者に伝わっていないことが推測されることから、地域社会を支える職種の人手不足について情報配信と環境整備が必要だと思っています。

また、若者のアイデアの例として、「子ども議会」において「廃棄される野菜などを商品化して、ふるさと納税の返礼品にしてはどうか」という提案がありました。

町長が考えている未来の比布町のあるべき姿を含めて、お考えをお聞かせ下さい。

■答弁・村中町長

「住んで良かったと思えるまち」の実現は行政の力だけでは不可能です。町民をはじめ、本町に関わりを持つすべての方々が、それぞれの立場で様々な役割を担っていただくことにより、一歩ずつ理想に近づいていくものと考えます。

□植西議員 返礼品開発における

イニシャルコストへの補助が必要だと思いますが、考えを伺います。

■村中町長 商工振興補助や特産品開発補助など、積極的に支援する体制を整えています。

□植西議員 ※エッセンシャルワーカーの人手不足は地域にとつてマ

イナスな要因になると思いますが、職業紹介はできないでしょうか。

■村中町長 職業体験や修学旅行での企業訪問など、できる範囲で経験をさせてあげたいと思います。

※エッセンシャルワーカー

社会を構成するにあたり必要不可欠な職業に就く人。インフラ整備、介護職、看護師など。

社 会福祉協議会との 関わりについて

□植西議員 社会福祉協議会（以下「社協」）の運営について、現状

の運用補助で十分であるとお考えなのか、その見通しについて、考えを伺います。

また、社協の人員体制について現状で良いとお考えなのか、状況によつては役場からの出向人事も考えているのか、お聞かせください。

■村中町長 補助金等の内容については、人件費や独自事業への補助金と町が委託する事業があり、毎年

社協役員と協議のうえ計上しており、金額は適正と考えています。

人員体制については、現行事業への対応は可能だと考えますが、山積する地域福祉の課題に対応していくためには、専門職の配置や外部組織との連携も必要ではないかと思っています。また、状況に応じて町職員の出向も必要であると考えますが、本町としても福祉専門職の人材が不足していることから、本年4月の段階で町職員を出向させることは困難であると判断しました。

□植西議員 社協が行う事業は町を維持するために最も重要なものだと思いますが、町長の考えを伺います。

■村中町長 重要な事業の一つであると思います。

□植西議員 社協に委託している事業の中で、将来において必要なくなる事業はあるでしょうか。

■村中町長 今年度、聞き取り調査をする予定です。現時点で必要なものはないと思っています。

□植西議員 事業補助は9割の補助ですが、人件費などの運用補助はどのように行っていますか。

■村中町長 事業補助については9割、それ以外の人件費等については、それ以下の場合がございます。このことについては、予算時期に社協役員と合意しています。

委員会のactivities

活動

Q…委員からの質疑
A…担当からの回答

総務常任委員会 6月2・3日開催

税務住民課

《報告事項》

■令和6年度町税等の調定及び収納状況

■上川広域滞納整理機構の6年度収納状況・7年度引継状況

■その他

◇確定申告相談・受付 264件

◇住民登録人口 3,386人

(令和7年3月末現在)

◇クリーン作戦(4月24日～5月11日実施)

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇比布町税条例の一部を改正する条例案

◇一般会計補正予算

Q マイナ免許証に記録された免許情報を取り取るために、早急に整備が必要になるのか。

A スマートフォンのアプリでマイナンバーカードを読み込み提示する方法を考えていますが、それ以外の方法についても検討します。

■その他

◇公衆浴場利用に関するアンケート調査結果

(説明) ボイラーを含め施設の老朽化が進んでおり、維持管理が難しいため、公衆浴場の将来的な廃止も視野に検討している。

また、公衆浴場としてではなく、町民サービス・福祉サービスの一環として事業を担っているだけなのか、民間事業者とも協議をしている。

保健福祉課

《報告事項》

▽福祉係・こども未来係

■令和6年度高齢者等の冬の生活支援事業状況等

◇令和6年度高齢者移動支援(ぴたく) 利用状況

Q クリニックの送迎について、診療が終わる時間がわからないため、帰りは利用できないと聞いていたが、その後改善はあったのか。

A 帰りの送迎も行っています。診療終了時にお電話をいただき、進行中の送迎が終わる次第、対応しています。



■令和6年度保育施設等入所児童数

■令和6年度児童手当等支給状況

■令和6年度障害者自立支援給付実績及び利用状況

▽保健センター(健康推進係・栄養指導係)

■令和6年度健診等結果状況等

▽介護保険係

■令和6年度介護保険特別会計決算見込

■介護給付費の推移

Q 居宅介護サービスの給付費が増加しているが、家族の介護負担について状況把握を行っているか。

A サロンへの巡回や地域回り等を通して把握を行っています

が、今年度は75歳以上の世帯等への訪問事業を予定していることから、さらなる状況把握に努めたいと思います。

▽地域包括支援センター

■地域包括支援センター運営実績

▽国保医療係

■令和6年度国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計決算見込

■令和7年度国民健康保険税案

▽その他

■中央ふれあい広場再整備事業に係る進捗状況

■町立診療所の状況

■高齢者の定期予防接種(肺炎球菌感染症及び带状疱疹)業務委託単価の変更

《協議事項》

■第2回議会定例会提出議案

◇比布町保健福祉サービス手数料条例の一部を改正する条例案

◇比布町公園条例の一部を改正する条例案

◇国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

◇国民健康保険特別会計補正予算

《その他》

■国民健康保険被保険者証について

Q 毎年8月に保険証が送付されているが、今年の対応は。

A マイナ保険証を保有していない方には7月に資格確認書を交付します。

教育課

《報告事項》

■令和7年度比布町教育推進の重点

▽総務係

■叙勲（瑞宝双光章）の伝達

〈伝達期日〉 2月21日

〈受章者〉 比布町立中央小学校

元校長 高橋 昌二氏

■令和6年度教育奨励賞表彰者

■令和7年度教育委員会機構図

▽学校教育係

■児童生徒数と学級編制数及び教職員体制

■認定こども園との連携

■教職員時間外在校等時間

Q 教頭先生の時間外が多い。負担が大きいのでは。

A 国や道の調査が多い状況で、教育委員会としても可能な範囲

で負担軽減を行っています。
今後もサポートをしながら業務負担の軽減を図るための取り組みを行っていきます。

■学校給食成分分析

■学校体育館・武道場空調設備設置工事

▽文化振興係

■令和6年度社会教育施設の使用料等

■令和6年度図書館の利用状況

■白寿大学の開催



白寿大学「楽しい理科実験」

■通年寺子屋「ほくれい塾」の開催

■比布チャレンジゼミの開催

■あしてらびっぷの開催

▽スポーツ振興係

■スポーツ少年団、公民館教室等の加入状況

■君の夢プロジェクト

■運動教室（幼児・前期・後期）



運動教室（幼児）

▽所管施設委託業務発注状況

◇百年記念公園管理委託業務

〈受注者〉 株式会社新見産業

〈内容〉 芝管理、グラウンド整地、施設清掃・開錠施錠、機械管理

◇幼児向け運動教室委託業務

〈受注者〉 株式会社コアサポート北海道

〈内容〉 全2回、36の基本動作指導

〈受注者〉 NPO法人ピピカッ応援プロジェクト

〈内容〉 全25回、36の基本動作指導

◇中央プール管理委託業務

〈受注者〉 環境衛生工業株式会社

〈内容〉 監視業務、循環浄化装置保守点検、施設清掃

◇第2回議会定例会提出議案

〈報告事項〉

■第2回議会定例会提出議案

■町債について（6年度決定・7

年度申請）

■令和6年度比布町各会計決算見込・基金の状況

■令和6年度地方創生臨時交付金の実施状況

■企業版ふるさと納税の状況

■旧新町団地跡地の活用

■その他

◇選挙投票区の統合

◇CIO補佐官業務委託

◇複合庁舎建設基本計画・基本設計

◇同郷会関係

・6月21日（土）東京比布会総会

・7月6日（日）札幌比布会総会

・9月7日（日）旭川比布同郷会総会

産業建設常任委員会

令和6年度比布町各会計決算見込・基金の状況

令和6年度地方創生臨時交付金の実施状況

企業版ふるさと納税の状況

旧新町団地跡地の活用

その他

選挙投票区の統合

CIO補佐官業務委託

複合庁舎建設基本計画・基本設計

同郷会関係

6月21日（土）東京比布会総会

7月6日（日）札幌比布会総会

9月7日（日）旭川比布同郷会総会

協議事項

第2回議会定例会提出議案

緑越明許費繰越計算書（一般会計・簡易水道事業会計・公共下水道事業会計）

令和7年度一般会計補正予算

産業建設常任委員会

6月4日開催

農林課

報告事項

令和7年度米「生産の目安」の追加設定

- 農作物の作付計画
- 町単独補助事業の実施予定
- 土地改良事業の実施

商工観光課

《報告事項》

- 商工観光課関係事業経過報告
- 令和6・7年度観光施設の利用状況
 - (1) ぴっぷススキー場
 - (2) グリーンパークぴっぷ
 - (3) 良佳プラザ・遊湯ぴっぷ
- 令和7年度イベント等の実施予定
- 令和6年度商工業振興事業補助金
- 令和7年度地方創生臨時交付金を活用した事業
- ◇2025比布町生活応援商品券給付事業

【実績】 給付者数3、379人

(1、741世帯)

給付枚数33、790枚

■ふるさと納税の状況

【件数】 301件

【金額】 661万4千円

(令和7年5月25日現在)

■地域おこし協力隊の取り組み

《協議事項》

◇令和7年度ぴっぷススキー場営業方針案

◇良佳プラザ・遊湯ぴっぷ次期指定管理者選定

Q 遊湯ぴっぷの来館者数をさらに増やすため、予算の範囲内で露天風呂などを増設し、リニューアルを行う必要があると思うが考えは。

A 施設の老朽化が進んでおり、予算のほとんどは修繕費として支出しておりますので、リニューアルを行うには厳しい現状があります。

建設課

《報告事項》

- 建設工事の発注及び進捗状況
- 令和6度町営住宅使用料の収納状況及び管理状況等
- 令和6年度上下水道使用料等の収納状況

《協議事項》

- 第2回議会定例会提出議案
- ◇簡易水道・公共下水道事業会計繰越報告
- ◇令和7年度一般会計補正予算

農業委員会

《報告事項》

- 令和7年度農業委員会活動計画
- 令和7年度農業委員会の業務概要並びに農業概況

第2回定例会 傍聴者のこえ



議会を傍聴された方に、議案や議事についてのご意見などをお聞かせいただくアンケートを実施しています。お寄せいただいたご意見を紹介します。

■ 今回の一般質問は7名。議会の活性化になり、充実した質問でした。ありがとうございます。

比布町内の質問が多く、特に障がい者福祉団体の充実等、社会福祉協議会関係の質問は聞き応えがありました。

障がい者・災害時の避難行動要支援者避難支援プランに対しても、作成するよう努力をお願いします。6年前には1回アンケートを取っています。

■ 福祉の問題は多義にわたり質問も多すぎて、焦点を絞って解決に向かって実のある質疑をしてほしいと思います。

■ 議員は自分の言いたいこと、伝えたいことをきちんと整理し

て話してほしい。聴いていて何の話か分からなくなりました。

■ 2人の議員から同じ質問が出ていたが、事前に調整し、質問が被らないようにしてはいかがでしょうか。

■ 7名の議員からの活発な提案・意見、今までにないほど議会が町民の幸せを願い、一生懸命お仕事をしてくださっていることが伝わりました。これからもよろしくお願いします。

今定例会は延べ8名の方に傍聴いただきました。

アンケートでいただいた貴重なご意見を今後の議会運営に活かしてまいります。

ご協力ありがとうございます。



広報委員が聞く！

町民インタビュー



「自分の好きなことを枠にとらわれずに描く」

鈴木 えみ子さん（中町）



絵手紙・ちぎり絵の面白いところは？

描いたハガキで仲間と交流したり、友達に送り感想を聞いたりして信頼関係が深まっています。そのご縁で今も友人としてお付き合いをしています。

今後の目標は？

残り少ない人生なので、自分の好きなことを枠にとらわれないで描いていける「絵手紙」と「ちぎり絵」を続けていきたいと思います。

議会に期待することはありますか？



遠藤ハル子作

道路を歩いていると「疲れる時に休憩をしたい」と思っても休むところが少なく、椅子があればいいなと思います。

もっと高齢者対策について提案して欲しいと思います。

（インタビュアー：遠藤ハル子）

「写真は行動力と忍耐力が大事」

高野 正行さん（9区）



写真の魅力は？

写真は行動力と忍耐力が大事。その日に必ず良い写真が撮れるとは限らないので、一瞬を見逃さず、100枚のうち1枚でも気に入った写真があれば嬉しいです。

認知症予防にもなるし、周りから「元気だね」と言われるのも写真のおかげかもしれないですね。

今後の目標は？

写真は奥が深いので、これからも勉強をして「きれいな写真を撮ること」を目標に続けていきたいです。

議会に期待することはありますか？

町外の友人から「比布から見る大雪山が1番きれいだ」と言われたことがあります。これからも大雪山の写真をきれいに撮るための環境整備にも目を向けてほしいです。

（インタビュアー：佐藤良彦）

編集後記



8月は、イベントが多いですね。比布神社例大祭、ぴっぷ夏まつり、仮装盆踊り大会、全町ソフトボール大会など。特に、仮装盆踊り大会は、どんな仮装が登場するのか楽しみですね。毎年参加者の皆様の奇抜な発想や個性のある衣装は素晴らしいです。きっと子供たちの思い出に残ることでしょう。私は、太鼓係で参加しますよ。

町では、イベントや交流の場として比布駅前広場および駅舎内の一部を無料で貸し出しています。テントや机、イス等も貸してくれます。興味のある方は、商工観光課・経済活性化係までお問い合わせください。

議会広報特別委員会では、町民のお役に立つ広報づくりを目指しています。そのためにもご意見などをお寄せください。

今後も議会の様子がわかる、読みやすい紙面を心掛け、改善を積み重ねていきますので、ご愛読をよろしくお願いします。

（谷口 雅浩）



太鼓の叩き手募集集中！



※議会広報特別委員会※

委員長 植西 浩一
副委員長 佐藤 良彦
委員 遠藤 ハル子
谷口 大熊 勝幸
雅浩